

単身赴任手当に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和七年十二月二十五日

徳島県人事委員会委員長 坂 田 千代子

単身赴任手当に関する規則の一部を改正する規則

単身赴任手当に関する規則（規則六 一二三）の一部を次のように改正する。

第二条中「及び第三項」を削り、「並びに」を「及び」に改め、同条第一号中「含め」を「含む」に改める。

第五条第一項中「任用の事情等を考慮して」を削り、「職員は、単身で生活することを常況とする職員」を「やむを得ない事情は、第二条に規定するやむを得ない事情」に改め、同条第二項第一号を次のように改める。

一 次に掲げる事由の発生（以下「事由発生」という。）に伴い、住居を移転し、第二条に規定するやむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居することとなった職員で、当該事由発生の直前の住居から当該事由発生の直後に在勤する公署に通勤することが第三条に規定する基準に照らして困難であると認められるもののうち、単身で生活することを常況とする職員

イ 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例（平成十三年徳島県条例第四十五号）第二条第三項第一号に規定する職員派遣から職務に復帰したこと。

ロ 職員の分限に関する条例（昭和四十年徳島県条例第十八号）第二条第一号の規定による休職から復職したこと。

第五条第二項第七号中「職務復帰」を「事由発生」に、「異動」を「第二条」とあるのを「前項」と、「異動」に改める。

別記様式の1号紙中「職づけ」を「職づけ」、「確認し」を「確認し」、「転出」を「転出」、「が更に住居」を「又は当該者の配偶者が更に住居」、「別居」を「別居」、「場合」を「場合」、「別居」を「別居」、「あつては」を「あつては」、「国家公務員、地方公務員等から人事交流等により引き続き」を「新たに」、「なった者」を「なった者又は公益的法人等派遣から職務に復帰した者若しくは休職から復職した者」、「適用」を「それぞれ「適用」又は「復帰」若しくは「復職」に改め、同様式の2号紙の（裏）中「配偶者」を「配偶者」、「ときは」を「ときは」、「その」を「その」、「場合」を「場合」、「通勤」を「通勤」、「徒歩、線」を「徒歩、線」に改める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 改正後の別記様式に相当する改正前の別記様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができるものとする。